

恵那市公立病院等の在り方フォーラム

平成 23 年 6 月 10 日 恵那市消防防災センター

《主な意見》

【大井地域協議会】

- ・ 検討委員会でまとめられた事項と今後の財政見通し、市議会の病院対策特別委員会の報告を参考として提言する。
- ・ 診療科については、市立恵那病院再整備にあたり、中津川市と協議し東濃東部の周産期センターを市立恵那病院へ設置することと合わせ、各施設の施策の充実を図り子どもを生み育てるまちづくりを構築する。
- ・ 新たな医師確保を考え、市立恵那病院に研修医の受け入れ態勢を考える。
- ・ 市立恵那病院と各診療所間に電子カルテを導入し、各種検査データの充実を図り、医療指導をするようにされたい。
- ・ 国保上矢作病院は市立恵那病院と統合し、分院として保健・医療・福祉・地域包括ケアを提供することと合わせ、上矢作歯科診療所も統合する。
- ・ 串原診療所は、他の診療所同様に常駐化を目指してほしい。
- ・ 市立恵那病院の運営は、指定管理者と十分な連携を図り、医師・医療スタッフの確保と医療サービスの充実を図る。
- ・ 市立恵那病院は、財政状況を踏まえ現在の敷地内で再整備をする。国保上矢作病院は、分院として福祉との連携を考え上矢作歯科診療所を含め再整備する。再整備するにあたり、公共交通機関の確保を考える。

【長島地域協議会】

- ・ 恵那市には産科が無いいため、安心して子どもが産める体制を作ってほしい。里帰り出産もできる体制を希望する。
- ・ 市立恵那病院の整備は、市の中核病院としての役割にとどめ、県立多治見病院との連携、他の病院と機能分担を行えば、総合病院まで目指さなくても良い。

【東野地域協議会】

- ・ 後期高齢や福祉の予算削減による患者の切り捨てとならない医療の提供を行い、市の公立病院をより利用してもらえる施策を実施する。
- ・ 出産をするのに不便で困るため、産婦人科の設置を望む。
- ・ 南に国保上矢作病院、北に市立恵那病院、間にいくつかの診療所がある今の形は、市民の健康を守るために大切。これ以上減らしてもらっては困る。

- ・東日本大震災が起きた今、もう少し財源について考えて、市立恵那病院と国保上矢作病院の改築とか統合などは、もう少し先に延ばしても良い。
- ・介護福祉施設について、必要なときに施設に入所できるよう充実する。
- ・東野から高齢者が病院へ行くのは困難なため、市立恵那病院へ通う交通アクセスを拡充する。
- ・市立恵那病院の改築はあとに延ばし、診療内容の充実など、今必要なことをきちんとやっていただきたい。
- ・かつて私たちがお産をしたころは、医者ではなく助産婦さんで子どもを産んだ。恵那市にはそういう施設もない。かつての助産婦さんを活用することも、できるのではないかと思う。

【三郷地域協議会】

- ・三郷町では結婚するとすぐ、瑞浪の方へ移住をされてしまう。若者の定住を図るため、子どもを安心して育てられるように、産婦人科と小児科の充実が必要だ。
- ・産婦人科医療については、中津川市民病院との連携により、市立恵那病院の医療体制の充実を望む。
- ・恵那市には優れた医師が居ることを、市民にPRをして圏外の病院に掛からず多くの市民に市の病院を利用してもらうこと。
- ・市立恵那病院へ直通で行ける福祉バスの検討をお願いしたい。
- ・市立恵那病院は、薬局が病院と離れており不便だ。
- ・退院後の医療リハビリを受けられるような在宅医療との連携を、充実して欲しい。
- ・国保岩村診療所を充実させ、国保上矢作病院は規模を大きくした診療所とすることが望ましい。
- ・国保三郷診療所の充実として、診療所が坂道の途中にあり高齢者には不便なため、福祉バスの検討と、診療時間の延長もしくは土曜日の開院による勤労者への配慮。

【武並地域協議会】

- ・平成9年以降診療所が無く困っていたが、開業医の診療所ができることとなりありがたい。診療所ができた折には、市立恵那病院との連携を密にしていきたい。
- ・国保上矢作病院のことを考えると、医療機関が無くなったり縮小したりすると大変だと思う。国保上矢作病院は、長野南部や愛知県からの患者も受け入れているので、財政上の負担を隣県にも求めているかどうか。
- ・合併調整方針を7年目にして方針変更ということが起きては、今後の市政に大きな禍根を残す。利害関係のないところは賛成に動く、上矢作のことはここを利用する人たちの、身近な意見を大事にしていきたい。
- ・医療問題は大変難しい、これからも市民の生命を守るために努力を望む。

【笠置町地域協議会】

- ・笠置町は診療所が無い。高齢化率が非常に高い。特定健診率が非常に悪いと指摘されたが、高齢者の足が無いことが原因だ。市立恵那病院まで行こうとすると 20 分前後掛かるため、初期治療がままならない。速やかに初期治療ができる体制を望む。
- ・ドクターカーを市民病院に設置し、医師が速やかに駆けつけ初期治療をして、その後を消防救急車で搬送する体制を取れば、介護要因の減少にもつながる。
- ・財政面から市立恵那病院は、恵那市に合った病院として確立していただきたい。
- ・中津川市や瑞浪市、豊田市との連携を行い、より良い初期治療や予防ができるよう考えてほしい。
- ・恵那市には産婦人科が無い。少子高齢化対策の弱みにもなっている。早期に解決すべき問題である。
- ・安心して産むことができ、健全に子育てができるのはとても重要だ。お金のこともあって大変だが、何か策があるはずだと思う。ぜひ英断をしていただきたい。

【中野方地域協議会】

- ・恵那市の規模から考え、事業費が限られるということから、病院を一本化したらどうか。
- ・病院を一本化して、医師や設備の拡充をしてほしい。産科や小児科の設置も含む。
- ・交通アクセスについても、力を入れていただきたい。
- ・国保上矢作病院はすぐ無くすということではなく、診療所として拡充を図ってほしい。

【飯地地域協議会】

- ・飯地町は人口が 13 地区で一番少ない 756 人、道路も非常に悪く市の中心部まで車で 30 分掛かる。国保飯地診療所は、飯地町民にとって無くてはならない医療機関であり、加茂郡などからの患者もある。
- ・今後も国保飯地診療所を堅持して、機器などの交換や充実を図っていただきたい。
- ・恵那市に産婦人科を、ぜひとも設置していただきたい。中津川市や瑞浪市、多治見市まで、お腹が痛くなってから車に乗せて行くのは本当に心配だ。安心して子どもが産める施設を考えていただきたい。
- ・市立恵那病院の充実をお願いしたい。診療所で紹介していただいたり、救急車で運ばれたりする場合、一番近いのが市立恵那病院であるが、それでも 30 分も掛かる。県立多治見病院まで行っているのは、助かる命も助からない。医師やスタッフも合わせ、恵那市の中核病院として機能を整えていただきたい。

【上矢作地域協議会】

- ・上矢作町は福寿の町として、医療と福祉を大切にきて来た。そのシンボルである国保上矢作病院は、町の貴重な財産の森林を伐採して財源とし、佐久病院から大島先生に帰って来ていただき、多くの町民の努力でできた病院である。
- ・長野県や愛知県にまたがる地域医療の拠点として、夜間診療や休日診療、救急医療にとっても重要な役割を担い、予防医療にも取り組んで来た。療養病床があるということは、高齢化社会の現在にとって大切なことである。
- ・市民意識調査では、医療への重要度が 67%と圧倒的に高い。産婦人科をはじめ小児科の充実を図り、市民の願いに答えていただきたい。
- ・国保上矢作病院は、経営上、今すぐ統合や縮小ということは必要が無い。耐用年数もまだ充分あり、耐震化もしたばかりでまったく問題は無いと聞いている。
- ・合併協議会の中で、恵那病院及び上矢作病院並びに各診療所については、将来にわたり現行の医療体制及び運営形態を引き継ぎ、福祉充実のため地域医療の病院施設として、さらに充実を図るとして合併協定が採決されている。将来にわたりという言葉、一番大切な確認事項として合併に同意したので、協定を遵守されたい。
- ・現在の国保上矢作病院は、入院ベッドの利用率が 95%を超す状態が続いており、救急搬入回数は年間約 250 件と非常に高く、経営状況も最近 5 年間は黒字経営が続いている。これらの状況から見ても、国保上矢作病院の統合や縮小ということは、何らメリットが無いことではないか。もしそのようなことが起きれば、恵那地域は元より平谷・根羽・稲武という近隣において、医療の過疎化が一気に進むだろう。
- ・合併協定は、ただ単に言葉だけの問題ではなく、極めて重要な確認事項であり、合併時の最大の条件の一つであった。合併協定を尊重することは至極当たり前のことで、統合や縮小などは合併協定違反である。このことをしっかりと認識する必要があると思う。
- ・国保上矢作病院の果たして来た役割、これからの役割、地域医療の統括病院としても、農山村へき地における地域包括医療を担う重要な病院である。市立恵那病院も国保上矢作病院もあってよし、恵那市に二つの病院があつてこそ、恵那市の人々の命と暮らしを、守っていける重要な役割を果たせるのではないかと思う。

【串原地域協議会】

- ・串原ではただ一つ問題がある。高齢化率が現在でも 40%になっており、今後も運転が出来なくなる人が多くなるということで、足の確保が一番大切なことだ。
- ・恵那市の財政を潤すためにも、恵那市の病院を利用していただきたいということだが、市立恵那病院を充実して足を作っていただければ、必ず行くものと思われる。送迎バスを串原まで回すなど、通院の足の確保をお願いしたい。

【明智地域協議会】

- ・明智町は公立の医療機関が無く、民間にすべてを頼っているため、夜間は医療の空白地帯となることが悩みである。
- ・東日本大震災でも、病院は地域の中核になっている。市立恵那病院の修復や拡張整備は、早期に行われたい。
- ・市立恵那病院が整備されても、遠路からのアクセスという問題が大きい。高齢者も増えてきており、コミュニティバスの整備が必要である。現状では、瑞浪や土岐から病院のバスが行き来している状況で、患者がそちらに流れてしまっている。
- ・国保上矢作病院は、もう少し分かりやすい場所に、建て替えしたらどうだろうという意見が出ている。
- ・後世にツケを残さないということと、財政のバランスと人口減少という問題がある。病院の在り方としては、ネットワーク化というのを相当急いでいただきたい。
- ・例えば 10 年後に、こういう公立病院を残していった場合、どのくらいの赤字が膨らむのか。また、経営していく中で、どのくらいの数字が出てくるのかといったことを、至急、市民に知らせる必要がある。
- ・民間病院をまったく拡張する余地が、あるのか無いのか。例えば民間病院を誘致するために、市としての優遇措置をもっと前面に出して、進めていくという対策の検討もしていただきたい。

【山岡地域協議会】

- ・健康プラザは国保山岡診療所だけでなく、健康な体づくりや介護予防を行う健康増進施設もあり、多くの市民の方に利用されている。夜間も診療していただけるように、医師の常駐化と歯科診療所の継続をしていただきたい。
- ・国保山岡診療所と、市立恵那病院や国保上矢作病院、東濃厚生病院との連携を行っていただきたい。
- ・市立恵那病院は、遠いとのこと。東濃厚生病院は病院のバスや市の自主運行バスで直接行けるが、市立恵那病院は明知鉄道とバスを乗り継いで行くため、お年寄りには大変だ。
- ・恵那市内で出産できる場所を、ぜひとも作っていただきたい。
- ・隣接する岩村町の診療所に、入院施設などを備えるように充実していただきたい。
- ・合併調整方針を推進し、市立恵那病院を建設した後に、恵南の病院を縮小するということが無いようお願いしたい。
- ・多くの方の意見を聞くべきという意見も沢山あった。

【岩村地域協議会】

- ・岩村町から国保上矢作病院まで車で 15 分、市立恵那病院までは 20 分、高齢者の方

は国保上矢作病院までバスも通っており、町内には診療所や民間の医院もあり、医療関係には恵まれていると思っている。

- ・産婦人科は充実していただかないと、人口減少に拍車がかかる。早急に、何がなんでもやっていただきたいという意見があった。
- ・市立恵那病院は、元の国立療養所という暗いイメージがある。病院はイメージが大切だ。いわむらカントリーの横に広大な土地があり、そこに病院を建てれば景色もよく、気分的にも病気が早く治るのではないかという意見も出た。
- ・岩村町や山岡町、明智町の患者は、東濃厚生病院へ流れている。明智町から市立恵那病院に通うよりも、東濃厚生病院へ通った方が近いのならば、広域医療のことも考えていったほうが良いのではないかと思う。
- ・今後、国保上矢作病院が無くなった場合、長野県とか稲武・根羽の過疎化が進むのではないか、地域の医療機関として何とか存続できれば良いという意見があった。

【傍聴席からの意見】

- ・病院の整備方針ですが、国保上矢作病院の統合する問題だとか、市立恵那病院を中核病院にしていこうだとかという論議は、どこでやったのかを聞きたい。
- ・国保上矢作病院のことも、十分に議論してほしい。
- ・検討委員会では、恵那市だけで産婦人科を作っていくのは、医師も必要であるし、予算の関係でも大変だから、中津川市民病院と連携しながら、この地域に産婦人科病院を作っていく方向にいったらどうか、という意見が大方だったと思う。
- ・少数意見も尊重してほしい。無理にまとめないで、素直に内容を報告していただきたい。